

そらべあ学生レポーターがゆく!

みなさんは、昨年の7月から施行された「再生可能エネルギーの固定買取制度」についてご存知ですか？これは再生可能エネルギーで発電された電気を、国が定める価格で一定期間、電力会社が買い取ることを義務づける制度です。この制度によって、そらべあ学生事務局が学園祭グリーン電力導入企画で使用してきたグリーン電力証書がなくなってしまうかもしれない！そんな噂を聞きつけた私は、真相を確かめるため、そらべあグリーン電力証書を販売している日本風力開発の大関桂さんを訪ねました。

大関さん：固定価格買取制度がスタートしたこと、大きな設備で発電された再生可能エネルギーは電力会社に買い取ってもらえるようになりました。買い取られたグリーンな電力は、通常の電気と一緒にされ、家庭や企業に供給されます。つまり、現在みなさんが使っている電気のなかにも、わずかながら再生可能エネルギーが含まれているのです。

では電力会社が再生可能エネルギーを買い取るためのコストを負担しているのは誰か？ほかでもない私たち消費者です。これまでのグリーン電力証書は、環境に配慮した発電であるという「環境価値」だけを取り出し、証書化して販売していました。ところが、現在は通常の電気にも環境価値が含まれるようにな

り、その代金は電気代に上乗せされる形で支払われるようになっています。結果的に、すべての世帯がグリーン電力証書を購入しているのと同じことが言えるわけです。

通常の電力にも環境価値が含まれるようになったことで、証書の発行数は大幅に減りました。しかし、グリーン電力証書が完全になくなるわけではなく、買い取りの対象にならない家庭や企業の小さな発電所から生まれた証書が一部残っていくでしょう。

環境価値のコストを広く消費者が負担することで、再生可能エネルギーの拡大を目指すという固定価格買取制度は、これまでのグリーン電力証書よりも、さらに大きな効果を期待できると感じました。

そらべあ学生事務局 麻布大学 松村知香



事務局からのお知らせ

「第2回 そらべあ再生可能エネルギーセミナー」を開催します。

2月22日（金）18:30より「第2回 そらべあ再生可能エネルギーセミナー」を開催します。講師は建築家の黒岩哲彦さん。熱や雨、風といった自然の力を取り入れた「エクセルギーハウス」についてお話をいただ

そらべあ基金
事務局の
つぶやき

こんにちは！そらべあ基金の三澤です。みなさんは「ESD」という言葉を聞いたことがありますか？世界には貧困問題や資源・食糧問題など、さまざまな問題がありますが、こうした世界の諸問題を解決できる人材を育てていこうという取り組みが「ESD : Education for Sustainable Development（持続発展教育）」なんです。これから環境教育に力を注ごうと考えているそらべあ基金では、先日、この「ESD」についての研修会に参加してきました。そこでわかったのは、「ESDに取り組みたい学校は多いけど、そのやり方に悩んでいる」ということでした。先生たちは何かと忙しく、ESDを教えるための勉強も十分にできない状況です。そこでわれわれNPOの出番です。NPOが先生と一緒に、授業の構成や一部の授業を受け持つ。そんな展開がNPOに期待される役割なのかなと感じました。今回の経験を糧に、今後のそらべあ基金の活動を膨らませていきますので、ぜひ期待していて下さい！

そらべあサポートーズクラブ

そらべあ基金の活動は、「そらべあサポートーズクラブ」会員のみなさまのご支援により支えられています。このそらべあ便りは、グリーン家電普及促進事業「家電エコポイント」を通じて楽天Edy株式会社、株式会社エヌ・ティ・ティ・カードソリューションの皆さまの寄付により制作されました。

プレミアムサポーター：ソニー損害保険（株）

オフィシャルサポーター：ソニー（株）、ソニーマーケティング（株）、ソニー生命保険（株）、シチズン時計（株）

サポーター：（株）ソニー・ピクチャーズエンタテインメント、（株）ホンダソルテック、（株）毎日新聞社

応援団：6社

個人・ファミリー サポーター：64名
(2013年2月12日現在)

読み終わったら、捨てずに回し読みしてね。

そらべあ便り

Sorabear Newsletter

Vol.15

ソーラー
アワード
2012
受賞！



©Shinzi Katoh

www.solarbear.jp

そらべあ便り vol. 15
2013年2月発行
編集：加藤聰
デザイン：小池隆夫
NPO 法人そらべあ基金
〒105-0004
東京都港区新橋 2-5-6
大村ビル 8F
TEL : 03-3504-8166
FAX : 03-5157-3178
<http://www.solarbear.jp>

REPORT

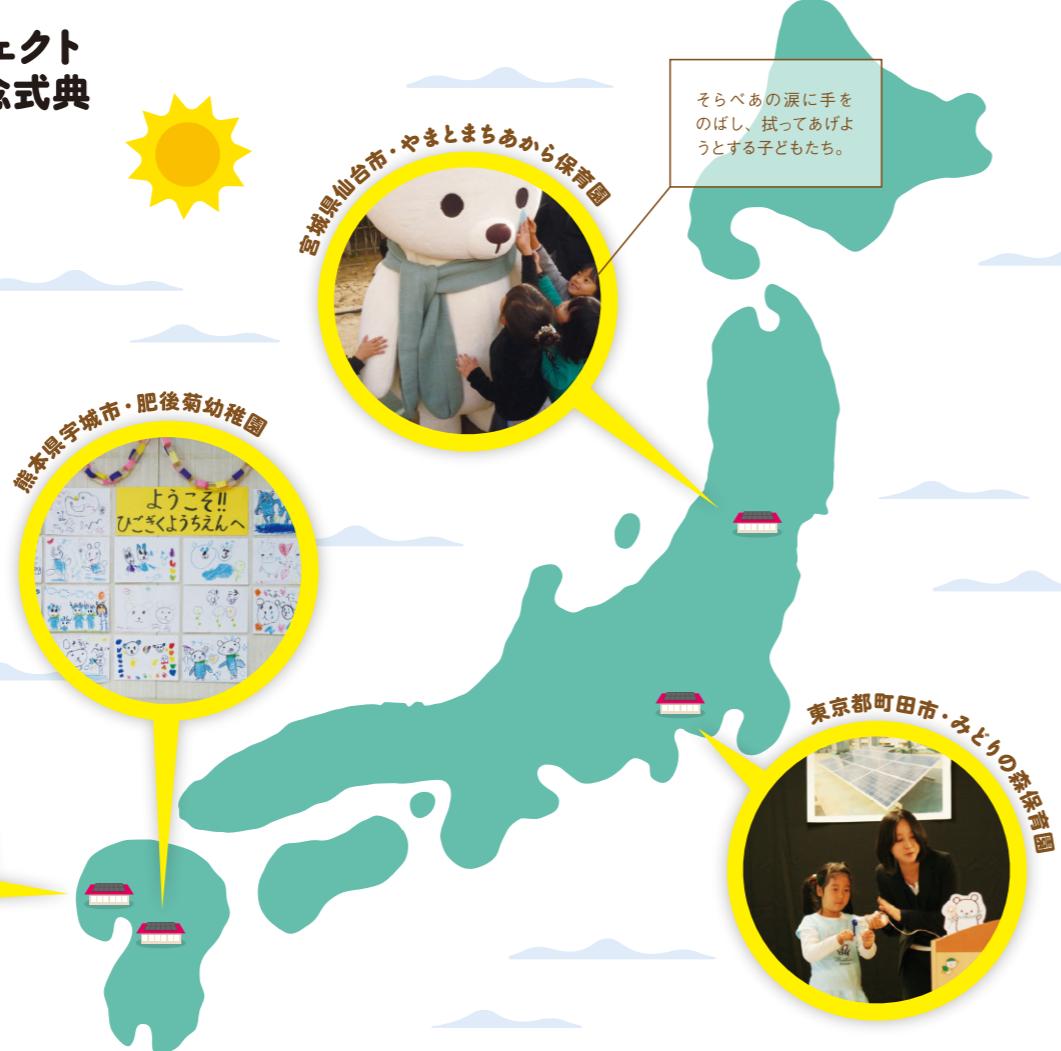
そらべあスマイルプロジェクト そらべあ発電所完成記念式典

昨年後半は、そらべあ発電所の建設ラッシュ!

10月～12月にかけ、佐賀県有田町の同朋天神保育園、東京都町田市のみどりの森保育園、宮城県仙台市のやまとまちあから保育園、そして熊本県宇城市の肥後菊幼稚園の4園で、完成記念式典が行われました。

記念式典では毎回「電気のおはなし」を行うのが恒例となっています。これは専用の発電キットを使い、電気ができる仕組みや電気をつくる大変さを子どもたちに知ってもらおうというもの。ところが、ある幼稚園での説明の際、1人の男の子が手を挙げて言いました。

佐賀県有田町・同朋天神保育園



やまとまちあから保育園では屋上にパネルを設置。屋上までは階段で上り降りできるので、子どもたちにはすぐ目の前で太陽光パネルを見ることができました。



「ぼく、電気作ったことあるよ。静電気！」

その答えに、会場にいた大人全員がビックリ！ まさしく静電気は道具を使わなくても作ることの電気です。その自由な発想に驚かされると同時に、環境教育は知識だけじゃなく、普段の体験のなかで感性を育むことが大切だということを、逆に子どもたちから教えていただいたような気がします。

また今回の寄贈で、そらべあ発電所の数は計35基となりました。東京と熊本は3ヵ所目、佐賀は2ヵ所目です。その数は順調に増えていますが、設置されていない地域は全国にまだまだたくさんあります。もしもみなさんのご近所に、環境問題やエネルギーに関心を持った幼稚園・保育園がありましたら、ぜひ「そらべあスマイルプロジェクト」のことを教えてあげてください。そらべあ発電所の輪をさらに全国に広げていきましょう！

REPORT

ソーラーアワード 2012 受賞！

12月13～15日に開催された日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2012」において、「ソーラーアワード2012」の授賞式が行われました。

同アワードは「エネルギーの自給国家・ニッポンへ」をスローガンにしており、太陽光発電事業のさらなる発展と消費者の関心の喚起を目的に、その年の自然エネルギーの普及に貢献した人物、企業、商品に贈られます。

アワードは全14部門。神奈川県のソーラー政策のリーダー・黒岩祐治神奈川県知事や、全国22ヵ所でのコンサートツアーで使用する電力の一部を太陽光エネルギーで実施した「ASIAN KUNG-FU GENERATION」など著名人もエントリーするなか、「プロジェクト部門」において、そらべあスマイルプロジェクトが受賞しました。

社会の自然エネルギーへの関心が高まるなか、環境キャラクター「そらべあ」を活用した子ども向けの自然エネルギー普及啓発活動が評価され、受賞に至りました。昨年度、東北を中心に活動し、被災地での創エネを実践的に広げていったことも評価のポイントとなっています。

今回の受賞を誇りに、これからもたくさんの子どもたちに環境保護の大切さを学んでもらうお手伝いをするとともに、再生可能エネルギーの創出と普及に努めています。





sorabear
そらべあ
calendar
2013

©Shinzi Katoh

2

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

3

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
	31					